

長岡市消防長 様		報告者 住所		令和〇〇年〇〇月〇〇日	
		氏名		〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇株式会社 代表取締役 〇 〇 〇 〇	
設置者	住所	△△市△△町△△丁目△△番△△号 電話			
	氏名	株式会社 △△△△△ 代表取締役 △△ △△			
設置場所		△△△市△△△町△△丁目△△番			
製造所等の別		<input type="checkbox"/> 製造所 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵所	貯蔵所又は 取扱所の区分	地下タンク貯蔵所	
設置又は変更の許可年月日 及び許可番号		令和〇〇年〇〇月〇〇日		長岡市指令消予第 〇〇 号	
試験実施場所		地下貯蔵タンクからサービスタンクまでの埋設部分			
試験実施日時		令和〇〇年〇〇月〇〇日		午前・午後 〇〇 時 〇〇 分	
試験等実施 責任者	住所	〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号			
	氏名	〇〇〇株式会社 代表取締役 〇 〇 〇 〇 ⑩			
加圧方法	種別	<input type="checkbox"/> 水圧（水以外の不燃性の液体を含む。） <input checked="" type="checkbox"/> 空気 <input type="checkbox"/> 窒素 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	圧力	20 kPa（常用圧力 10 KPa）			
腐食を 防止	<input type="checkbox"/> 電気防食	<input type="checkbox"/> 飽和硫酸銅電極 <input type="checkbox"/> 飽和カロメル電極			
	<input checked="" type="checkbox"/> 塗覆装 覆装材	塗装材	<input type="checkbox"/> アスファルトエナメル <input type="checkbox"/> フロンアスファルト <input checked="" type="checkbox"/> その他（さび止め塗装）		
		覆装材	<input type="checkbox"/> ヘンヤンクロス <input type="checkbox"/> 耐熱用ビニルクロス <input type="checkbox"/> ガラスクロス <input type="checkbox"/> ガラスマット <input checked="" type="checkbox"/> その他（ペトログラムテープ 2.2mm以上巻き、ビニルテープ 0.4mm以上巻き）		
<input type="checkbox"/> コーティング	<input type="checkbox"/> ポリエチレン <input type="checkbox"/> その他（ ）				
その他必要事項					
※ 受付欄			※ 経過欄		

備考：試験箇所ごとの圧力記録紙及び試験実施中の写真を添付すること。

試験実施後に行う、配管の腐食を防止する方法の実施状況について写真を添付すること。

## 危険物配管圧力試験等実施報告書 記載要領

- 1 報告書提出日を記入すること。
- 2 報告者は危険物施設の設置者、又は工事請負者とする。
- 3 「設置者」欄は、設置者の住所、氏名を記入すること。
- 4 「設置場所」欄は、危険物施設の設置場所を記入すること。
- 5 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」の区分を記入すること。
- 6 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、「地下タンク貯蔵所」、「給油取扱所」等の細区分を記入すること。
- 7 「設置又は変更の許可年月日及び許可番号」欄は、今回工事にかかる設置又は変更の許可年月日及び許可番号を記入すること。
- 8 「試験実施場所」欄は、報告しようとする試験を実施した場所（箇所）を記入すること。  
(試験範囲を分けて実施した場合などは、その範囲を記入すること。)
- 9 「試験実施日時」欄は、試験を行った日時を記入すること。
- 10 「試験等実施責任者」欄は、試験実施責任者が所属する事業所及び代表者名を記入してください。また、実際に試験を実施した者の氏名及び押印でもかまいません。
- 11 「加圧方法」欄は、加圧方法及び加圧圧力について記入すること。
- 12 「腐食を防止する方法」欄は、配管等の腐食を防止するために施工した方法を記入すること。

### 注意事項

- 試験箇所ごとの圧力記録紙及び試験実施中の写真を添付してください。
- 腐食を防止するための工事は、圧力試験の実施後に施工してください。（塗覆装材で漏えい箇所を塞ぐことになり、配管自体の漏れを発見することができないため）

## 工事写真について（お願い）

地下貯蔵タンクの場合など、完成検査時に施工方法を確認できないものについては、工程ごとに写真を撮り、施工基準を満たしていることを示せるようにしておいてください。

地下貯蔵タンクを例にした場合、次の施工部分については必ず写真を撮ってください。

- 捨石、捨てコンクリートの状況
- 基礎配筋の太さ、間隔、接続部分
- 基礎コンクリートの大きさ、厚さ
- 支柱配筋、フープ筋の間隔、太さ、基礎との接続方法
- 枕のある場合は、その大きさ
- タンク保護ゴムシートのある場合はその施工状況
- タンクの固定状況（複数のタンクが同一基礎にある場合は、タンク相互の間隔）
- 支柱のコンクリート充填状況
- 保護砂等の埋め戻し状況
- 上スラブの配筋太さ、間隔、接続部分
- 上スラブの大きさ、厚さ